

寿都町立寿都中学校

【総合的な学習の時間、特別活動】

■ 地域の関係機関、小・中・高等学校と連携したふるさと学習

★活動に関連する目指す子ども像



「人を思いやり 粘り強く努力し 自らの力で 未来を切り拓く人」
「地域のよさを発見し、愛着をもつ子ども」

□ 活動の概要



地域の基幹産業である漁業の体験や海浜清掃をきっかけにして、問いを見だし、探究的な学習を通して、寿都町の産業への理解を深めるとともに、郷土に対する愛着をもたせることをねらいとして、第1～3学年の総合的な学習の時間に、環境学習や特産品を用いた町おこしの企画立案、修学旅行先で寿都町の魅力をPRする活動を行っています。

□ 活動の具体

- ・ 関係機関の協力を得て学んだ寿都町の自然や歴史、産業を踏まえ、町の観光プログラムの作成、寿都町産のバジルを用いたレシピの考案と調理実習、試食会を行っています。
- ・ 第3学年では、学んだことを基に地元のPRチラシを作成し、修学旅行先でバジルソルトとともに配布するなど、寿都町の魅力をPRする活動を行っています。

□ 教育課程上の工夫

- ・ 寿都町小中高連携推進委員会で、令和5年度より目指す子ども像を上記のとおり改定し、町内全ての小・中・高等学校の児童生徒が、寿都町の現状と課題、地域活性化に向けた企画をそれぞれの発達の段階に合わせて探究する総合的な学習（探究）の時間の教育課程を編成しています。